

こちら特報部

新型コロ
し、代替品
り、「今の
染者が出て

有

広報は「汚染は特段出ていな
い」と言っが、作業員に聞く
と少なからず出ているよう
だ。

移動月

防護服が足りなくなり、言いカバ
ールで作業する作業員ら。22日、
福島県の東京電力福島第一原発で
(本社へリ「おちこ」から)

休憩所

ているが、作業員の汗は飛び
散るし、濃厚接触はあるし、
危険は多い」と話す。
廃炉作業は二十五日から大

なければ中小企業はもたな
い。日給制の作業員などは即
生活ができなくなる」と語っ
た。

重なる
試練

新型コロナウイルスの感染拡大がとまらない。国内の感染者数は一万人を超え、全国に緊急事態宣言が発令された。日常生活は自粛が隣り合わせになり、医療崩壊も目前に迫る。こうした災禍は、近年の災害で被災した人たちがそれを支える人たちにも及ぶ。重なる試練に直面する。彼らは何に悩み、どう活路を見いだそうとしているか。まずは東京電力福島第一原発事故の被災者支援として「保養」を企画する団体の現状を探った。
(榊原崇仁)

放射能気にせず遊べるはずが

保養の中止を告げるフェイスブック上の投稿

福島の子どもたちとともに・世田谷の会
3月8日 20:09

◆◆◆中止のお知らせ◆◆◆
2020/3/7当会運営委員会において、コロナウイルス関連の様々なリスクについて検討の結果、残念ながら今回の春リフレッシュ企画は中止することに決定致しました。
皆様方には、また次回のリフレッシュ企画でお会いできることを楽しみにしております。

「こんな時期にやるのは勇気がいる。新型コロナウイルスの感染者が出たら責任が取れない。春休みと大型連休に予定していた分はやむなく中止にしました」。福島県内の親子向けに保養を企画してきた国際環境NGO「FoE Japan」(東京都板橋区)の矢野恵理子さん(左)はそう語る。保養とは、原発事故の被災地に残る人らを放射能汚染が低い地域に招き、数日

から数週間の滞在中にリフレッシュしてもらう取り組みのこと。一九八六年のチェルノブイリ原発事故で被災した子ども向けに盛んに行われた。日本でも福島原発事故後、全国の民間団体が長期休暇などに企画してきた。現在は二百〜三百の保養団体があるとされる。FoEは二〇二二年一月から他の三団体と始めた。被災地の親子が気軽に参加できるように、福島県内で汚

染が低い地域を保養先に選び、一三年五月からは会津地方の猪苗代町でペンションを借りて実施してきた。新型コロナウイルスの感染拡大以前は、月に一回、二泊三日で計画し、毎回三十人前後が参加していた。子どもたちは放射能を気にせず、スキーや水遊びといった外遊びに夢中になれるほか、「日が暮ればペンションでじゃれ合いながらおしゃべりしています」(矢野さん)。三食を用意するのは参加した母親たち。子どもたちが寝付くと、ビールを飲みながら悩みを語り合う。

ただ、こうした活動の多くは「密閉・密集・密接」の「三密」に該当する。矢野さんは「誰かがウイルスを持ち込めばクラスターになる」と述べ「原発事故で学んだのは予防原則の重要性。何か起きる前に決断しました」と説明する。

春の保養を中止した団体は多い。かねて東京都内で実施してきた「福島の子どもたちとともに」・世田谷の会」もその一つ。運営委員の高橋徹さん(左)は外出自粛が広まる中、「自由行動は大きく制限しなきゃいけない」と説明する。

「コロナ」の追跡

なくなる」と語る。やはり中止を決めた町田市のはちみつ会」の八木智美さん(左)は「普段は約六十人が大型バスで一緒に移動する。車中は三密そのもの」と述べ、大阪市の「心援隊」の夏村ゆみさん(左)も「新幹線を使う長距離移動はリスクが高い。春の分は見送った」と話す。

困惑した様子を見せたのが、福島県いわき市から愛知県岡崎市に避難した後、保養を企画してきた小松恵利子さん(左)。岡崎市の藤田医科大岡崎医療センターが二月以降、新型コロナウイルスの集団感染が起きたクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」の乗員乗客らを受け入れると「春休みの保養に参加予定だった方々が一斉にキャンセルしたため、中止になりました」。

全国の保養団体が加盟する「311受入全国協議会」共同代表で東京経済大学の早尾貴紀准教授は「三月や五月の保養の七割は中止になった」と述べた上、「夏休みにも計画する団体も多いが、新型コロナウイルスが終息する時期が見込めないため、どうするか結論を出せずにいる」と説明する。

福島の子を招く 保養

「3密」に該当

苦渋の自粛

「はじめで」の人も「はじめで」るけど上手く撮れない人も

カメラで撮るのが「はじめで」の人も「はじめで」るけど上手く撮れない人も

はじめで
カメラ

東京新聞
写真部
監修

RAFDPT

「インスタ映え」は当然
最高にお気に入りの「インスタ映え」

生徒

女優・宮崎香蓮さんと写真部デスクの掛け合いで進行するからわかりやすい!

先生

「少ない機材」で「少ないチャンス」を

★ ENTERTAINMENT

エンター

